安全データシート

ねじロック 中強度 0.5ml (100pc)

SDS No. : 316211
V001.15
改訂: 15.04.2025
発行日: 30.07.2025

ヘンケルジャパン株式会社

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード: 1711102
製品名: ねじロック 中強度 0.5ml (100pc)

推奨される用途 : ねじロック剤

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1800

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分
皮膚感作性	区分 1
水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3

GHSラベル要素:

絵表示:

注意喚起語: 警告

危険有害性情報:
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H401 水生生物に毒性。
H412 長期継続的影響により水生生物に有害。

安全対策
P261 ミスト/蒸気の吸入を避ける。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 防護手袋を着用する。

応急措置:
P302+P352 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石けんで洗うこと。
P333+P313 皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ, 再使用する場合には洗濯をすること。

廃棄:
P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物／容器を廃棄すること。

その他の危険有害性: 適切に使用した場合特になし。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

３．組成、成分情報

単一製品･混合物： 混合物
化学特性： 嫌気性接着剤

危険有害成分及び濃度

成分 CAS-No.	wt%	GHS分類

1,4-ブタンジオールジメタクリレート 2082-81-7	>= 25 - < 30 %	皮膚感作性 1B H317 水生環境有害性 短期（急性） 2 H401
シアヌル酸トリアリル 101-37-1	>= 2.5 - < 10 %	急性毒性 4; 経口 H302 水生環境有害性 短期（急性） 2 H401 水生環境有害性 長期（慢性） 2 H411
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート 1393932-71-2	>= 2.5 - < 10 %	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 2B H320 水生環境有害性 短期（急性） 2 H401 水生環境有害性 長期（慢性） 2 H411
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物 68611-44-9	>= 1 - < 10 %	
ポリエチレン 9002-88-4	>= 1 - < 10 %	
ポリエチレングリコールモノメタクリレート 25736-86-1	>= 1 - < 2.5 %	水生環境有害性 短期（急性） 3 H402
1,2-プロパンジオール 57-55-6	>= 1 - < 10 %	
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) 80-15-9	>= 0.25 - < 1 %	引火性液体 4 H227 有機過酸化物 E H242 急性毒性 4; 経口 H302 急性毒性 2; 吸入 H330 急性毒性 4; 経皮 H312 皮膚腐食性 1B H314 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3 H335 特定標的臓器毒性 - 反復暴露 2 H373 水生環境有害性 短期（急性） 2 H401 水生環境有害性 長期（慢性） 2 H411
マレイン酸 110-16-7	>= 0.25 - < 1 %	急性毒性 4; 経口 H302 急性毒性 4; 経皮 H312 皮膚刺激 2 H315 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 2A H319 皮膚感作性 1 H317 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3 H335 水生環境有害性 短期（急性） 3 H402
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン 114-83-0	>= 0.1 - < 0.25 %	急性毒性 4; 経口 H302 皮膚感作性 1 H317 発がん性 2

		H351 水生環境有害性 短期（急性） 1 H400 水生環境有害性 長期（慢性） 1 H410
メタクリル酸 79-41-4	>= 0.1 - < 0.25 %	引火性液体 4 H227 急性毒性 4; 経口 H302 急性毒性 4; 吸入 H332 急性毒性 3; 経皮 H311 皮膚腐食性 1A H314 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 1 H318 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3 H335 水生環境有害性 短期（急性） 3 H402
1,4-ナフトキノン 130-15-4	>= 0.0025 - < 0.025 %	急性毒性 3; 経口 H301 急性毒性 1; 吸入 H330 皮膚腐食性 1C H314 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 1 H318 皮膚感作性 1 H317 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3 H335 水生環境有害性 短期（急性） 1 H400 水生環境有害性 長期（慢性） 1 H410

労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

４．応急処置

皮膚にかかった場合： 流水とせっけんでよく洗い流すこと。
医師の診察を受けること。

眼に入った場合： 直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。必要な場合は医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。水を1-2杯飲ませること。無理に吐かせないこと。
医師の診察を受けること。

吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察を受けること。

５．火災時の措置

消火方法： 火災が発生した場合、泡沫消火剤か粉末消化剤を使用すること。

適切な消火剤: 二酸化炭素、泡、粉末

火災時の特有の危険有害性: 炭素酸化物、窒素酸化物、刺激性有機蒸気。

消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置: 自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 皮膚および眼への接触を避けること。

環境に対する注意事項 下水管に流さないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 少量の場合紙タオル等で拭き取り、廃棄用容器にて保管すること。

大量の漏洩に対しては、不活性な材質のものに吸収させ廃棄するまで、密閉できる容器に保管する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い
安全取扱い注意事項 感作の危険を防ぐため長時間若しくは、繰り返しの接触は避けること。

よく換気された場所で使用すること。

皮膚および眼への接触を避けること。

取扱い後は十分に洗うこと。

８．暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本 許容濃度等

JPISHL OEL
安衛法：作業環境評価基準で定める管理濃度

JPJSOH OEL
日本産業衛生学会：許容濃度

JP NOEL
安衛法：化学物質による健康障害防止のための濃度の基準（濃度基準値設定物質）

成分【規制物質】	ppm	mg/m³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list

ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物 [土石,岩石,鉱物,金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は 100%遊離シリカの値を用いて方程式 3.0/(1.19* (%遊離シリカ) + 1)により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL
ポリエチレン		2	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
ポリエチレン		8	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
メタクリル酸 [メタクリル酸]	2	7	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
メタクリル酸 [メタクリル酸]	20		時間加重平均（TWA）:	発効日: 2025 年 10 月 1 日	JP NOEL

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物		3	時間加重平均（TWA）:		ACGIH
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物		10	時間加重平均（TWA）:		ACGIH
ポリエチレン		10	時間加重平均（TWA）:		ACGIH
ポリエチレン		3	時間加重平均（TWA）:		ACGIH
メタクリル酸	20		時間加重平均（TWA）:		ACGIH

設備対策: 一般的な換気が空気汚染をコントロールするのには十分でない場合、局所排気装置を設置すること。

保護具：

呼吸用保護具: 換気の良い場所でのみ使用すること。

手の保護具： 適切な保護手袋

眼の保護具: 保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護服を着用すること。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態：	液体	色：	青
		臭い:	特異臭
pH：	該当なし，混合物は非極性/非プロトン性です。	融点：	該当なし，製品は液体
沸点：	> 150 ° C (> 302 ° F)	密度：	1.09 g/cm3
蒸気密度：	>1	蒸気圧:	データ無し/対象外
引火点:	> 100 ° C (> 212 ° F)		
爆発範囲（下限）:	データ無し/対象外	爆発範囲（上限）:	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度：	> 20.5 mm2/s
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分配係数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外

粒子特性	データ無し/対象外

１０．安定性及び反応性

安定性：

反応性:	強酸化剤 還元剤 強アルカリ 脱酸素剤 その他の重合開始剤 重金属
化学的安定性:	推奨保存状態下では安定している。
避けるべき条件	仕様書に従った使用であれば分解しない。
危険有害な分解生成物：	炭素酸化物
危険な重合反応：	起こらない。

１１．有害性情報

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）:

消化管の炎症をもたらす恐れがある。

有害物質	値型	値	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	LD50	10,066 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
シアヌル酸トリアリル	LD50	753 mg/kg	ラット	OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
ポリエチレン	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
1,2-プロパンジオール	LD 50	18.4 g/kg	モルモット	
1,2-プロパンジオール	LD 50	18 g/kg	ウサギ	
1,2-プロパンジオール	LD 50	19 g/kg	犬	
1,2-プロパンジオール	LD 50	23.9 g/kg	マウス	
1,2-プロパンジオール	LD 50	30 g/kg	ラット	
1,2-プロパンジオール	LD50	22,000 mg/kg	ラット	指定されていません
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LD Lo	5,000 mg/kg	マウス	
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LD50	382 mg/kg	ラット	other guideline:
マレイン酸	LD 50	2,400 mg/kg	マウス	
マレイン酸	LD 50	708 mg/kg	ラット	
マレイン酸	LD50	708 mg/kg	ラット	指定されていません
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	LD 50	270 mg/kg	マウス	
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	LD50	310 mg/kg	ラット	OECD Guideline 425 (Acute Oral Toxicity: Up-and-Down Procedure)
メタクリル酸	LD 50	1,332 mg/kg	マウス	
メタクリル酸	LD 50	1,600 mg/kg	マウス	
メタクリル酸	LD 50	1,250 mg/kg	マウス	
メタクリル酸	LD 50	1,200 mg/kg	ウサギ	
メタクリル酸	LD 50	1,060 mg/kg	ラット	
メタクリル酸	LD 50	2,224 mg/kg	ラット	
メタクリル酸	LD50	1,320 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
1,4-ナフトキノン	LD 50	190 mg/kg	ラット	
1,4-ナフトキノン	LD50	124 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
マレイン酸	LD 50	2,400 mg/kg	マウス	
マレイン酸	LD 50	708 mg/kg	ラット	
マレイン酸	LD50	708 mg/kg	ラット	指定されていません
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	LD 50	270 mg/kg	マウス	

1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	LD50	310 mg/kg	ラット	OECD Guideline 425 (Acute Oral Toxicity: Up-and-Down Procedure)

急性毒性（経皮）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	LD50	> 3,000 mg/kg	ウサギ	指定されていません
シアヌル酸トリアリル	LD50	> 2,000 mg/kg	ウサギ	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	LD50	3,650 mg/kg	ウサギ	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
ポリエチレン	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
1,2-プロパンジオール	LD50	> 2,000 mg/kg	ウサギ	指定されていません
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	Acute toxicity estimate (ATE)	1,100 mg/kg		専門家の判断
マレイン酸	LD 50	1,560 mg/kg	ウサギ	
マレイン酸	LD50	1,560 mg/kg	ウサギ	指定されていません
メタクリル酸	LD 50	500 mg/kg	ウサギ	
メタクリル酸	LD 50	1 g/kg	モルモット	
メタクリル酸	LD50	500 - 1,000 mg/kg	ウサギ	皮膚毒性スクリーニング
メタクリル酸	Acute toxicity estimate (ATE)	500 mg/kg		専門家の判断

急性毒性（吸入）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
シアヌル酸トリアリル	LC 50	> 0.333 mg/l	蒸気	1 h	ラット	
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	LC50	> 5.01 mg/l	粉じん及びミスト	4 h	ラット	OECD Guideline 436 (Acute Inhalation Toxicity: Acute Toxic Class (ATC) Method)
ポリエチレン	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5 mg/l	粉じん及びミスト	4 h		専門家の判断
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5 mg/l	粉じん及びミスト			専門家の判断
1,2-プロパンジオール	LC 50	> 317.042 mg/m3	エアゾール	2 h	ウサギ	
1,2-プロパンジオール	LC50	> 317.042 mg/l	粉じん及びミスト	2 h	ウサギ	指定されていません
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LC50	1.370 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LC50	1.245 mg/l	蒸気	4 h	ラット	評価計算
マレイン酸	LC 50	> 0.72 mg/l	吸入	1 h	ラット	
メタクリル酸	LC50	3.19 - 6.5 mg/l	粉じん及びミスト	4 h	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)
メタクリル酸	Acute toxicity estimate (ATE)	3.19 mg/l	粉じん及びミスト			専門家の判断
1,4-ナフトキノン	LC50	0.046 mg/l	粉じん及びミスト	4 h	ラット	OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)
マレイン酸	LC 50	> 0.72 mg/l	吸入	1 h	ラット	

皮膚腐食性／刺激性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	刺激性なし	24 h	ウサギ	FDA Guideline
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	刺激性なし		ウサギ	EU Method B.4 (Acute Toxicity: Dermal Irritation / Corrosion)
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	刺激性なし	4 h	ウサギ	指定されていません
1,2-プロパンジオール	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-	corrosive		ウサギ	Draize test

フェニルエチルヒドロパーオキシド)				
マレイン酸	刺激性	24 h	human	Patch Test
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	not corrosive		Human, EpiSkinTM (SM), Reconstructed Human Epidermis (RHE)	OECD 431 (In Vitro Skin Corrosion: Reconstructed Human Epidermis (RHE) Test Method)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	刺激性なし		Human, EpiSkinTM (SM), Reconstructed Human Epidermis (RHE)	OECD 439 (In Vitro Skin Irritation: Reconstructed Human Epidermis (RHE) Test Method)
メタクリル酸	corrosive	3 min	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
1,4-ナフトキノン	Category 1C (corrosive)		ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
マレイン酸	刺激性	24 h	human	Patch Test
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	not corrosive		Human, EpiSkinTM (SM), Reconstructed Human Epidermis (RHE)	OECD 431 (In Vitro Skin Corrosion: Reconstructed Human Epidermis (RHE) Test Method)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	刺激性なし		Human, EpiSkinTM (SM), Reconstructed Human Epidermis (RHE)	OECD 439 (In Vitro Skin Irritation: Reconstructed Human Epidermis (RHE) Test Method)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:

眼に弱い刺激をもたらす可能性がある。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	刺激性なし		ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	Category 2B (mildly irritating to eyes)		ウサギ	EU Method B.5 (Acute Toxicity: Eye Irritation / Corrosion)
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	刺激性なし		ウサギ	指定されていません
ポリエチレン	刺激性なし	24 h	ウサギ	FDA Guideline
1,2-プロパンジオール	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
マレイン酸	highly irritating		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	刺激性なし		ニワトリ、眼、単離されたもの	OECD 438 (Isolated Chicken Eye Test Method)
メタクリル酸	corrosive		ウサギ	Draize test

呼吸器又は皮膚感作性:

皮膚への付着により感作される恐れがある。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	not sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	not sensitising	Patch-Test	human	ヒト反復傷害パッチテスト
ポリエチレン	not sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
1,2-プロパンジオール	not sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	equivalent or similar to OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
マレイン酸	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
マレイン酸	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	陽性	Direct peptide reactivity assay (DPRA)	cysteine and lysine, in chemico test	OECD 442 C (Direct Peptide Reactivity Assay (DPRA))
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	陽性	Activation of keratinocytes	human keratinocytes, in vitro test	OECD 442 D (ARE-Nrf2 Luciferase Test Method)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	陽性	activation of dendritic cells	human monocytes, in vitro test	OECD Guideline 442E (H-CLAT: Human Cell Line Activation Test)
メタクリル酸	not sensitising	Buehler test	モルモット	equivalent or similar to OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
1,4-ナフトキノン	sensitising	指定されていません	モルモット	指定されていません
マレイン酸	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
マレイン酸	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	陽性	Direct peptide reactivity assay (DPRA)	cysteine and lysine, in chemico test	OECD 442 C (Direct Peptide Reactivity Assay (DPRA))
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	陽性	Activation of keratinocytes	human keratinocytes, in vitro test	OECD 442 D (ARE-Nrf2 Luciferase Test Method)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	陽性	activation of dendritic cells	human monocytes, in vitro test	OECD Guideline 442E (H-CLAT: Human Cell Line Activation Test)

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	positive without metabolic activation	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	positive with metabolic activation	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		Ames試験
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		Chromosome Aberration Test
ポリエチレン	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		Ames試験
1,2-プロパンジオール	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	without		Ames試験
1,2-プロパンジオール	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	陽性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	without		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
マレイン酸	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	no data		Ames試験
マレイン酸	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)

1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	陽性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	陰性	in vitro mammalian cell micronucleus test	有無		OECD Guideline 487 (In vitro Mammalian Cell Micronucleus Test)
メタクリル酸	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		equivalent or similar to OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
1,2-プロパンジオール	not carcinogenic	経口給餌	2 y daily	ラット	male	指定されていません
マレイン酸	not carcinogenic	oral: feed	2 y daily	ラット	male/female	OECD Guideline 451 (Carcinogenicity Studies)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	carcinogenic	oral: drinking water	continuous	マウス	male/female	指定されていません
メタクリル酸	not carcinogenic	吸入	2 y	マウス	male/female	OECD Guideline 451 (Carcinogenicity Studies)
マレイン酸	not carcinogenic	oral: feed	2 y daily	ラット	male/female	OECD Guideline 451 (Carcinogenicity Studies)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	carcinogenic	oral: drinking water	continuous	マウス	male/female	指定されていません

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	NOAEL P 500 mg/kg NOAEL F1 500 mg/kg	1世代試験	oral: feed	ラット	指定されていません
1,2-プロパンジオール	NOAEL P 10,100 mg/kg NOAEL F1 10,100 mg/kg NOAEL F2 10,100 mg/kg	2世代試験	oral: drinking water	マウス	other guideline:
マレイン酸	NOAEL F1 150 mg/kg NOAEL F2 55 mg/kg	2世代試験	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)
メタクリル酸	NOAEL P 50 mg/kg NOAEL F1 400 mg/kg NOAEL F2 400 mg/kg	2世代試験	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	評価	ばく露経路	標的臓器	備考
メタクリル酸	呼吸器への刺激のおそれ。			

特定標的臓器毒性（反復ばく露）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間／処理頻度	種	試験方法
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	NOAEL 1,000 mg/kg	oral: gavage	M: 28 d daily	ラット	OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	NOAEL 500 mg/kg	oral: feed	5-8 w daily	ラット	指定されていません
1,2-プロパンジオール	NOAEL 1,700 mg/kg	oral: feed	2 years daily	ラット	指定されていません
1,2-プロパンジオール	NOAEL 1000 mg/m3	inhalation	90 d 6 h/d, 5 d/w	ラット	指定されていません
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)		inhalation: aerosol	6 h/d 5 d/w	ラット	指定されていません
マレイン酸	NOAEL >= 40 mg/kg	oral: feed	90 d daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
メタクリル酸		inhalation	90 d 6 h/d, 5 d/w	ラット	OECD Guideline 413 (Subchronic Inhalation Toxicity: 90-Day)

誤えん有害性:

データなし

１２．環境影響情報

一般環境有害性情報:
下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。
水生生物に有害である。
水生環境に長期の可逆効果をもたらす恐れがある。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	LC50	32.5 mg/l	48 h		DIN 38412-15
シアヌル酸トリアリル	LC50	4.36 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	LC50	1.2 mg/l	96 h	Cyprinus carpio	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	LC50	> 10,000 mg/l	96 h	Brachydanio rerio (new name: Danio rerio)	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ポリエチレン	LC50	> 100 mg/l	96 h	Leuciscus idus	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	LC50	> 10 - 100 mg/l	96 h	指定されていません	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
1,2-プロパンジオール	LC50	51,600 mg/l	96 h	ニジマス	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
キュメンヒドロパーオキサイド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LC50	3.9 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
マレイン酸	LC50	> 245 mg/l	48 h	Leuciscus idus	DIN 38412-15
メタクリル酸	LC50	85 mg/l	96 h	Salmo gairdneri (new name: Oncorhynchus mykiss)	EPA OTS 797.1400 (Fish Acute Toxicity Test)
メタクリル酸	NOEC	10 mg/l	35 d	Danio rerio	OECD Guideline 210 (fish early lite stage toxicity test)
1,4-ナフトキノン	LC50	0.045 mg/l	96 h	Oryzias latipes	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
マレイン酸	LC50	> 245 mg/l	48 h	Leuciscus idus	DIN 38412-15

毒性（ミジンコ）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
シアヌル酸トリアリル	EC50	19.4 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	EC50	> 10 - 100 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
ジクロロ(ジメチル)シラン	EL50	> 10,000 mg/l	24 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202

と二酸化ケイ素の反応生成物					(Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
1,2-プロパンジオール	EC50	18,340 mg/l	48 h	Ceriodaphnia dubia	other guideline:
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC50	18.84 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
マレイン酸	EC50	42.81 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	EC50	1.1 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
メタクリル酸	EC50	> 130 mg/l	48 h	Daphnia magna	EPA OTS 797.1300 (Aquatic Invertebrate Acute Toxicity Test, Freshwater Daphnids)
1,4-ナフトキノン	EC50	0.026 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
マレイン酸	EC50	42.81 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	EC50	1.1 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	NOEC	5.09 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
1,2-プロパンジオール	NOEC	13,020 mg/l	7 d	Ceriodaphnia sp.	other guideline:
マレイン酸	NOEC	10 mg/l	21 d	Daphnia magna	other guideline:
メタクリル酸	NOEC	53 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性 (藻類):

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	EC50	9.79 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	NOEC	2.11 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	EC50	> 12 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	EC10	0.51 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	EC50	> 173 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1,2-プロパンジオール	EC50	24,200 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1,2-プロパンジオール	NOEC	15,000 mg/l	14 d	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC50	3.1 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus (reported as Scenedesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	NOEC	1 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus (reported as Scenedesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
マレイン酸	EC50	74.35 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
マレイン酸	EC10	11.8 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	EC50	0.258 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	NOEC	0.012 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
メタクリル酸	NOEC	8.2 mg/l	72 h	Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
メタクリル酸	EC50	45 mg/l	72 h	Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1,4-ナフトキノン	NOEC	0.07 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1,4-ナフトキノン	EC50	0.42 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
マレイン酸	EC50	74.35 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
マレイン酸	EC10	11.8 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1-アセチル-2-フェニルヒ	EC50	0.258 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella	OECD Guideline 201

ドラジン				subcapitata	(Alga, Growth Inhibition Test)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	NOEC	0.012 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	NOEC	20 mg/l	28 d	activated sludge, domestic	指定されていません
シアヌル酸トリアリル	EC0	5 mg/l	3 h		OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	EC50	> 1,000 mg/l	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
ジクロロ(ジメチル)シランと二酸化ケイ素の反応生成物	EC50	> 2,500 mg/l	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
ポリエチレン	EC0	> 1,000 mg/l	3 h	指定されていません	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
1,2-プロパンジオール	EC50	> 1,000 mg/l	3 h	activated sludge	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC10	70 mg/l	30 min	指定されていません	指定されていません
マレイン酸	EC10	44.6 mg/l	18 h	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 8 (Pseudomonas Zellvermehrungshemm-Test)
メタクリル酸	EC10	100 mg/l	17 h	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 8 (Pseudomonas Zellvermehrungshemm-Test)
1,4-ナフトキノン	EC50	5.94 mg/l	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
マレイン酸	EC10	44.6 mg/l	18 h	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 8 (Pseudomonas Zellvermehrungshemm-Test)

12.2. 残留性と分解性

製品は非生分解性である。

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	readily biodegradable	aerobic	84 %	28 d	OECD Guideline 310 (Ready BiodegradabilityCO2 in Sealed Vessels (Headspace Test)
シアヌル酸トリアリル		aerobic	> 7 - 9 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	容易に生分解されていません。	aerobic	14 %	29 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
ポリエチレン	容易に生分解されていません。	aerobic	1 %	28 d	ISO 10708 (BODIS-Test)
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	readily biodegradable		> 60 %	28 day	OECD 301 A - F
1,2-プロパンジオール	readily biodegradable	aerobic	> 81.7 - 100 %	28 d	OECD Guideline 301 F (Ready Biodegradability: Manometric Respirometry Test)
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	容易に生分解されていません。	aerobic	3 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
マレイン酸	readily biodegradable	aerobic	97.08 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	容易に生分解されていません。	aerobic	39 %	28 d	OECD Guideline 301 D (Ready Biodegradability: Closed Bottle Test)
メタクリル酸	readily biodegradable	aerobic	86 %	28 d	OECD Guideline 301 D (Ready Biodegradability: Closed Bottle Test)
メタクリル酸	inherently biodegradable	aerobic	100 %	14 d	OECD Guideline 302 B (Inherent biodegradability: Zahn-Wellens/EMPA Test)
1,4-ナフトキノン	容易に生分解されていません。	aerobic	0 %	28 d	OECD Guideline 301 F (Ready Biodegradability: Manometric Respirometry Test)
マレイン酸	readily biodegradable	aerobic	97.08 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	容易に生分解されていません。	aerobic	39 %	28 d	OECD Guideline 301 D (Ready Biodegradability: Closed Bottle Test)

12.3. 生態蓄積性

データなし。

有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	9.1			計算	OECD Guideline 305 (Bioconcentration: Flow-through Fish Test)
有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	3.1		OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
シアヌル酸トリアリル	2.8	20 ° C	指定されていません
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	4.14	30 ° C	OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
1,2-プロパンジオール	-1.07	20.5 ° C	EU Method A.8 (Partition Coefficient)
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	1.6	25 ° C	OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
マレイン酸	-1.3	20 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	0.74		QSAR (Quantitative Structure Activity Relationship)
メタクリル酸	0.93	22 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
1,4-ナフトキノン	1.71		指定されていません
有害物質	**LogPow**	**温度**	**試験方法**
マレイン酸	-1.3	20 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	0.74		QSAR (Quantitative Structure Activity Relationship)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

１３．廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法:: 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

１４．輸送上の注意

Marine transport IMDG:
危険物には該当しない。

Air transport IATA:
危険物には該当しない。

国内輸送規制:
陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送法法に従う。
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

１５．適用法令

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物	1,2-プロパンジオール
名称等を表示すべき有害物	1,2-プロパンジオール
特定化学物質第１類物質	該当なし
特定化学物質第２類物質	該当なし
特定化学物質第３類物質	該当なし
特定化学物質特別管理物質	該当なし
第1種有機溶剤等	該当なし
第2種有機溶剤等	該当なし
第3種有機溶剤等	該当なし
変異原性が認められた既存化学物質	該当なし
変異原性が認められた届出物質	該当なし
がん原性物質（ISHL 第 57-1、 57-2 および 57-3条、施行規則条項 第 577-2-3条）	該当なし
皮膚等障害化学物質等	該当なし

消防法	第4類引火性液体,第4類　第3石油類(非水溶性)
毒物及び劇物取締法：	該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法）:(含有率表示は代表値)	該当しない

(含有率単位が%0 の場合 %0=1/10%)

１６．その他の情報

発行日: 30.07.2025

注意::

この安全性データシートは日本産業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、 明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。
この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。
お客様各位、
ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。
SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。
個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。